

山中漆器産業技術センターの平成24年度管理状況

施設所管課	商工労働部経営支援課
指定管理者	(財) 山中漆器産業技術センター 理事長 稲葉良二
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況																		
「挽物轆轤技術」の後継者育成	<p>挽物轆轤技術研修に関する業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研修生数(人)</th> <th>講義時間(時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎1学年</td> <td>5(内1名退学)</td> <td>1,308</td> </tr> <tr> <td>基礎2学年</td> <td>5(内1名休学)</td> <td>1,304</td> </tr> <tr> <td>専門1学年</td> <td>4(内1名休学)</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td>専門2学年</td> <td>1</td> <td>732</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15(内退学1名休学2名)</td> <td>3,956</td> </tr> </tbody> </table>	区分	研修生数(人)	講義時間(時間)	基礎1学年	5(内1名退学)	1,308	基礎2学年	5(内1名休学)	1,304	専門1学年	4(内1名休学)	612	専門2学年	1	732	計	15(内退学1名休学2名)	3,956
区分	研修生数(人)	講義時間(時間)																	
基礎1学年	5(内1名退学)	1,308																	
基礎2学年	5(内1名休学)	1,304																	
専門1学年	4(内1名休学)	612																	
専門2学年	1	732																	
計	15(内退学1名休学2名)	3,956																	
山中漆器産業に従事する人たちが利用しやすい施設の管理運営	<p>施設及び開放機器の提供 施設、開放機器の使用(使用58件206人)</p> <p>開館時間の延長 利便向上のため開館時間を夜9時まで延長(火曜及び水曜) 組合の体験教室事業のために臨時開館(11月3日及び4日)</p> <p>施設の情報提供、広報 ホームページを運営</p> <p>関係機関との連携・協力の推進</p> <p>各種事業及び講座実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漆芸教室 受講生 延べ468人 ・パソコン教室 受講生 6人 ・山中漆器史研究 受講生 3人 ・山中漆器啓蒙支援事業 ・挽物木地動向調査事業 <p>山中漆器連合協同組合が取り組む産業振興事業をサポート。 石川県工業試験場と連携して、組合や従事者に技術を提供。</p> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的な情報提供及び相談 ・利用者への図書の貸出 																		

伝統工芸に関心のある県民（来県者を含む）が利用しやすい施設管理運営	施設の使用受付、案内等の接遇向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全員に対し挨拶等接遇マナーを徹底 自主事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> 企画展の実施（センター展示室、金沢駅ステーションギャラリー、石川県大阪事務所、地場産業振興センター） 体験教室等企画展の周知（関係機関及びホームページ） 県民への普及啓発事業（県政学習バスの受入） <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学者への説明 517名 ・ 体験研修の実施 181名 						
収入の確保と経費の節減、適切な維持管理	授業料等の徴収に係る業務 <table border="0"> <tr> <td>授業料</td> <td>2,546,750円</td> <td>未納なし</td> </tr> <tr> <td>施設・開放機器使用料</td> <td>37,110円</td> <td>未納なし</td> </tr> </table> 効率的な維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃委託 週1回の館内清掃 ・ 保守点検委託（消防設備、エレベーター、空調設備） ・ 警備委託 夜間の機械警備 ・ 小規模修繕 特になし 	授業料	2,546,750円	未納なし	施設・開放機器使用料	37,110円	未納なし
授業料	2,546,750円	未納なし					
施設・開放機器使用料	37,110円	未納なし					
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡網の策定 						

（２）施設の利用状況

①利用指標

指標	H23年度 (参考)	H24年度	前年度比	増減理由
研修生数（人）	18人	15人	83.3%	
利用者数（人）	2,316人	1,930人	83.3%	

②使用許可等の状況

区分	許可件数	不許可件数	不許可理由
施設使用	9件	0	
開放機器使用	49件	0	

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

区分	収入額	減免額	減免理由
施設使用	14,860円	11,360円	山中漆器連合協同組合等の利用
開放機器使用	22,250円	0円	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	36,362	人件費	15,230
授業料収入	2,547	委託料	3,982
使用料収入	37	光熱水費	2,394
		修繕費	206
		その他の管理費	1,030
		轆轤研修事業費	16,104
合計	38,946	合計	38,946
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果

・ろくろ研修事業（平成25年3月実施 有効回答数12件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%

・施設開放事業（平成25年3月実施 有効回答数4件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

・漆芸教室事業（平成25年3月実施 有効回答数9件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成25年3月	・轆轤の時間がもっとあると良い	・轆轤を増設して轆轤授業を増やしたカリキュラムを編成し、より良い研修内容となるように努力していきたい。
	・外の鍛冶場の金床とグラインダーを増設してほしい。	・研修所の設備について、職員及び講師陣で協議を行い、必要な設備は増設していきたい。

	・木や漆についての座学がもっとあれば良いと思う。	・職員及び講師陣で十分協議を行い、専門講師を検討し依頼したい。
	・備品等が不足しがち。	・不足している物について連絡があれば機敏に対応していきたい。

②事故、故障等

年月	内容	対応
	特になし	

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・漆器に関する様々なスペシャリストを講師として招き、研修生に対して高いレベルの研修を行っている。特に所長（人間国宝）である川北良造氏自ら、所定講義回数以上の技術指導を積極的に実施している。 ・研修生をはじめ、産地の漆器関係者に対して、山中漆器産業の育成及び支援を行うための、調査等を積極的に行い、国内産地からの挽物轆轤の受注システムの検討をしている。 ・児童生徒や一般を対象とした見学や体験教室等を積極的に実施し、山中漆器の普及啓発に努めている。 ・組合員が自分の専門以外の漆に関する技術を習得する漆芸研修に加えて、商品のリーフレットを自ら作成できるようにパソコン研修を実施している。 ・入学案内書は県内の高校へ持参すると共に、研修内容について詳細な説明を行っている。また、高校の卒業予定者を対象にした体験研修を実施している。 ・入学に関する問い合わせを受けた場合は、必ず事前に当センターで体験を行うよう依頼している。入学前に「漆器づくり」という仕事の厳しさを実感してもらうことで、質の高い研修生を集めることができる。 ・地元の漆器事業者が施設・開放機器をより利用しやすいように、研修所の開館終了時間を週2回（火曜及び水

		曜)、午後5時から午後9時に延長している。 ・研修生や施設利用者を対象としたアンケートを実施し、サービスの維持向上等に活用している。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・挽物轆轤研修事業を円滑に進めるために、設備の保守点検を定期的に行うなど、適切な維持管理に努めている。 ・設備等が故障した場合は、研修等に支障が生じないよう速やかに修繕を行っている。 ・轆轤を挽く時に発生する木屑等を封筒や畜産物の床どこ等に利用している事業所に収集してもらい、リサイクルしている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。 ・ノウハウをもった職員を適切に配置することで、漆器業者の相談や見学・体験者への対応といった点を含め、適切な管理運営を行っている。 ・各種の基礎データを整備・分析し、経費節減と環境に配慮した管理を徹底している。 ・研修生、相談者の個人情報保護に留意している。
総合評価	B	・山中漆器産業の育成及び支援を行うことを目的として、適切な管理運営を行っているほか、山中漆器に関心のある県民に対しての普及啓発事業も積極的に行っている。

○評価基準

- A (優) : 仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B (良) : 仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C (可) : 仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D (不可) : 仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A (優) : 優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B (良) : 優れた管理運営がなされている
- C (可) : 適正な管理運営がなされている
- D (不可) : 改善が必要である

※評価にあたっては、利用者アンケートの結果を考慮するものではないので注意すること

(7) 助言・指摘事項

<p>特になし。</p>
